

令和5年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 新道寺 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※本校の6年生については、単学級ですので、個人が特定されないように公表の方法については、配慮しています。

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.4	59
全国	9.4	67	10.0	63

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	・全体的に全国平均を下回っていた。「情報の扱い方に関する事項」については全国平均と同程度であるが、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題がある。
	よくできた問題	・情報をどのように整理しているかについて適切に説明しているかを捉える問題
	努力が必要な問題	・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる記述式の問題 ・インタビューの質問の趣旨を捉える問題

算数	全体的な傾向や特徴など	・全国平均を上回っている問題もあるが、全体的に全国平均を下回っていた。領域では「データの活用」に課題がある。
	よくできた問題	・百分率で表された割合について理解しているかをみる問題 ・伴って変わる二つの数量関係を捉える問題
	努力が必要な問題	・二次元の表から、条件に合う数の組合わせを選ぶ問題 ・2位数÷1位数の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算のの商の十の位にあたる式を選ぶ問題

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか」で、30分以上読書をする割合は全国平均を下回っている。全く読まない児童の割合も全国平均を大きく上回っている。学校や家庭での取組が必要である。 ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか」で、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」割合が全国平均より上回っていた。昨年度は下回っていたが、地域のコミュニティスクール会議で話し合い実行していった成果だと考える。今後も地域と連携した教育を継続し、シビックプライドの高揚を図っていきたい。 ・「自分にはよいところがあると思いますか」で、「当てはまる」「どちらかという当てはまる」割合が全国平均を下回っている。全職員で児童の実態や今後の取組を共通理解し、自尊感情を高めていく取組をしていきたい。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- 資料の内容を読み取り自分の考えをまとめる力を付けるために
 - ・ 様々な教科における資料から分かること、そのことを基に自分の考えをもつこと、字数制限や条件を与えて書くこと、振り返りで視点を与えて自分の考えを書くことを継続的に取り組む。
- 自尊感情を高めるために
 - ・ 支援を要する児童に対して担任と担任外の教員とで情報共有し、学習支援や行事の振り返り等を通して、児童に達成感や成就感を味わわせることを継続して行う。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 読書習慣を付けていくために
 - ・ 学校、学年だより等を通じて読書習慣の実態や読書をする意義等を伝え、家庭でのテレビ視聴やゲームをする時間も含め家庭生活の見直しを呼びかける。
 - ・ 学校においては、担任の読み聞かせや活動が早く終わった時間での読書、図書委員会の読書週間の取組等を通して、本に興味をもたせ読書に親しむ時間を確保し、家庭での読書習慣につなげる。